

令和 8 年 第 1 回定例会一般質問

順序	氏 名	質 問 事 項	質 問 要 旨	答 弁 者
1	三 澤 公 雄	1. 八雲町役場新庁舎等建設町民説明会での発言等について	「デザインが華美だから建設費が高くなり、入札不調になったんだ」などの様に“事実”と異なる理解をされていたり、果てには全くの誤解をされている町民を産み出した説明会だった、と私は思う。新庁舎設計案の“名誉回復”と会場での町長発言の真意を質す。	町 長

令和 8 年 第 1 回定例会一般質問

順序	氏 名	質 問 事 項	質 問 要 旨	答 弁 者
2	関 口 正 博	1. 新庁舎建設事業について	<p>役場新庁舎等建設工事において、建築主体工事の2度の入札不調を受け、議会との協議、町民説明会を経て、現設計は活用せずに新たに設計することを基本に庁舎建設事業をすすめるとの決断が示されました。</p> <p>これまで設計費等で投じられた1億9千万円を無駄にしても現設計を白紙化することが最善であると判断した根拠について、全員協議会で協議をしてきましたが、現状においては説明責任が十分には尽くされているとは言い難いと受け止めており、次の点について質問いたします。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 『ゼロベースで設計をし直す』と判断した具体的な根拠についてあらためて伺う。 2. 現設計の設計変更・現設計者との協議継続を含めた議会側の提案は検討されたのか。 3. シルバープラザを公民館として大規模改修することだが、改修内容・事業規模は。 <p>本事業は、八雲町の行政サービスの在り方、将来負担を左右する重要な事業であり、町民の理解、合意形成が不可欠です。短い期間での決断でもあり答弁できる範囲は現状においては限られると思いますが、進捗状況を含め答えられる範囲でお示しいただきたい。</p>	町 長

令和 8 年 第 1 回定例会一般質問

順序	氏 名	質 問 事 項	質 問 要 旨	答 弁 者
3	横 田 喜 世 志	<p>1. 国の学校給食無償化支援について</p> <p>2. 総合病院の給食業務外部委託について</p>	<p>国が2分の1負担で「給食費負担軽減交付金」が創設されそうです。児童数×基準額×11 か月×2分の1が交付される。残りの2分の1は都道府県の負担になります。基準額は物価高騰を見据えた1月当たり5,200円です。八雲町は給食費無償化になっており、町の財政負担が軽くなります。現在アレルギーを持ち給食を食べられない児童には給食費相当分を支給しています。しかし、給食費負担軽減交付金は在籍児童数で交付され、非喫食者の取り扱いは学校設置者の判断に委ねるとなっています。不登校・長期欠席などの様々な理由から給食を食べられない児童にも給食費相当分を支給すべきと考えるが、町としての考えを伺う。</p> <p>給食業務外部委託を受けた業者による契約条件が材料納入業者や調理員に提示されています。労働条件として大幅な減額での厳しい条件のため、栄養士を確保できない事で町内の業者・働く人々に苦汁を飲ますのは、町内随一の職場を持つ八雲町としていかなものか。栄養士を確保し院内給食を継続するべきだと思いますが、町としての考えを伺う。</p>	<p>教 育 長</p> <p>町 長</p>

令和 8 年 第 1 回定例会一般質問

順序	氏 名	質 問 事 項	質 問 要 旨	答 弁 者
4	齋 藤 實	1. ふるさと住民登録制度の活用について	<p>移住した定住人口でもなく観光に来た交流人口でもない、地域や地域の人々と多様に関わる者である「関係人口」に取り組むことの重要性が、議会でも議論されてきました。「地方創生 2.0」の実現に向け、「ふるさと住民登録制度」が制度化されましたが、この制度は地域の担い手確保や地域経済活性化につなげるのが主要な目的であり、その活動内容としては、活動対象項目に自治体に指定された無形民俗文化財、またはそれに準ずると認められる伝統行事、祭礼、民俗芸能等の保存、継承、普及啓発等があります。</p> <p>熊石地域においても、関係人口を活用し祭礼を実施、また相沼地区においても少ない人員で「相沼奴」を実施、事業の継承を行っているが、多くの人員が必要となっております。</p> <p>「ふるさと住民登録制度」を活用し、熊石地域のまちづくりを進める考えはあるか伺います。</p>	町 長

令和 8 年 第 1 回定例会一般質問

順序	氏 名	質 問 事 項	質 問 要 旨	答 弁 者
5	水 野 博 美	<p>1. 八雲町のまちづくりを担う人材育成について</p> <p>2. 八雲町に在住の外国人の現状と交流について</p>	<p>まちづくりは、人づくりと言われていました。 八雲町においても様々な職員研修や、まちづくり人材育成のため、各課で様々な取り組みをされていると思いますが、その現状と課題を教えてください。</p> <p>八雲町でも、人口減少により外国人労働者が増えています。 ほとんどが一次産業や民間の事業所で働いていますが、産業が維持できることで、町にも良い影響があると思います。 そこで、その方たちが住みやすく働きやすい環境作りのため、町としても何らかの対応が必要と考えます。 私たち町民にとっても、日本以外の言語や文化に触れられることはとても貴重な体験になりますので、是非、町として相談窓口の設置や交流の場の設定を考えてほしいと思いますが、町長のお考えをお伺いします。</p>	<p>町 長</p> <p>町 長</p>

令和 8 年 第 1 回定例会一般質問

順序	氏 名	質 問 事 項	質 問 要 旨	答 弁 者
6	小 西 雄 一	<p>1. 木彫り熊発祥 100 周年を契機に、これからの100年に向かうための、文化の継承・発展について町政に問う。</p>	<p>① 後継者育成、伝統の継承問題をどのように考えるのか？ また、現在社会教育課が主体となって事業を進めているが、今後町全体(町の組織全体)としての事業を展開していく可能性はあるのか？</p> <p>② 八雲町の有志を中心に、昨年7月に一般社団法人 八雲熊彫伝承保存振興会(通称:八雲熊彫の会)が発足した。 この会の目的は「八雲熊彫の技術及び文化的背景を次世代へ確実に継承するとともに、地域内外との連携を通じて持続可能な発展を図り、地域文化の振興及びまちづくりに寄与する」とあります。 今後、町としても熊彫文化を支え、育て、次の100年へとつなぐための協力体制の構築が可能なのか？</p>	町 長 教 育 長

令和 8 年 第 1 回定例会一般質問

順序	氏 名	質 問 事 項	質 問 要 旨	答 弁 者
7	赤 井 睦 美	<p>1. 第2期総合計画の総括と3期計画への思いは？</p> <p>2. 国内外の大学との連携の検討を！</p>	<p>八雲町の人口は、1955年の36,171人をピークに減少が続き、現在は14,000人台となっています。</p> <p>また、財政面では多くの地方自治体同様、一般会計に占める地方交付税の割合が高く、ふるさと納税も大きく減少し、決算が黒字とはいえ厳しい状況にあります。</p> <p>産業面でも、農業・漁業・製造業の担い手不足が深刻化しており、町の基盤を揺るがす課題が顕在化しています。</p> <p>これらの状況を踏まえ、2027年で終了する第2期総合計画の成果と課題等、町長はどのように総括されているのかをお伺いします。</p> <p>また、第3期計画は萬谷町長のまちづくりに対する強い思いが反映されると思いますが、現段階でどのような構想をお持ちなのかをお伺いします。</p> <p>2月19日の北海道新聞に「八雲町と北海道大学広域複合災害研究センターは、広域複合災害の被害軽減に向けた連携協定を締結した。」という記事が掲載され、とても良いと思いました。</p> <p>そこで更に産業面における後継者・担い手不足を補うための一つの方法として、国内外の大学との連携は考えられないでしょうか。</p> <p>連携した大学からインターンシップ等で1か月程度八雲町に滞在し、八雲町の魅力を体験・発見してもらったり、専門的な知識や幅広い情報の提供、課題の分析や政策効果の検証、共同研究や職員研修など、連携して取り組める仕組みをつくり、外部人材流入の入り口として活用できると思うのですが、町長のお考えをお伺いします。</p>	町 長